

《担当者名》平 典子 [hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

学生の関心領域に関連させ、種々の研究方法論について探求する。

【学修目標】

エビデンスをもとに、自己の関心領域に適した研究法を選択し妥当性を検証できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---------------|----------------------|--|-----|
| 1) 14 | 看護研究方法に対する適用条件と限界の検討 | 1) 自己の関心領域、着目する現象の明確化 2) がんサバイバーに関する理論、研究方法論に関する文献の講読 3) 国内外のがん看護領域の看護研究の動向と課題 (概念分析、アウトカムモデル、サブストラクションにもとづく介入研究デザインを含む) | 平 |
| 15) 20 | 研究方法の選択と研究計画の立案 | 1) フィールド・ワーク、データ収集に関する妥当性の検討 (対象抽出, 対象となる現象への関わり方を含む) 2) 研究課題に即した倫理的配慮の検討・倫理審査への申請 3) 分析方法の選択 | 平 |
| 21) 30 | 予備調査に基づいた研究方法論の検討 | 1) 予備調査の実施 2) データの記述に関する検討 3) 考察に関する検討 4) 論文全体の構成・執筆に関する検討 | 平 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート(40%)、プレゼンテーション(40%)、ディスカッション(20%)

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

学習目標の達成に向け、関連領域の文献を熟読し臨む。